本邦事業會社の現狀は投上資本中借入金社債の如言外部債 務の過多なるが當に經營の困 離を來たして居るこさは周知 離とから観で昨今增資乂新設 資本を求めて居る事業も若干 資本を求めて居る事業も若干

であた。世間の事業資金の要の建前から工業金融でありが展を関するものでありが展を関するものという。

である、然らに金融市場かって、事業 ・ 其の效用を整揮し得るの が、其の效用を整揮し得るの が、其の效用を整揮し得るの である、然らに金融市場かー である、然らに金融市場かー である、然らに金融市場かー である、然らに金融市場かー

東要なる地位を占めて居る。 財界の前途が好況にせよ。不 況にせよ此の問題は一朝にして 排拭されることは無い。即 を計債の養行は借替たるご新 を計債の養行は借替たるご新 展附減債基金制のものたらし 保附減債基金制のものたらし なかつ・節に関みて必ずや擔 であや・免債者も会融※者も であや・免債者も会融※者も

マス、そんないきさつのですか。よく分りました。 もうあんな人たちょう 臓像をお断ちになるとおいまんたちょう はんとに総知らずざ

ちも、あたなに側接交がありますですか、わたしたちが探してあげかわたしたちが探してあげか

事

戦級ない際で云った。

▲職業和介無職当 新京勞動保護者 新京勞動保護者

新

京

出

張

所

音裡們一丁目

萬屋方

(電話三〇〇十年)

支本

店店

型四電開 話 五 一 五 大 五 一 五 大

五〇前

和吳

詳服

2 雜京

貨染

各學校の校長は全部日

を 一で、 支那からの旅行者は保 一で、 支那からの旅行者は保

で小配して居つたが此れで福洲には親族が罹山のるの

の加し (電剛千圓) 登蔵、南洋等外地貿易額は左 登表に依れば十二月中の朝鮮

男女の結婚は納税して一

滿經濟提携に

實業名鑑を發刊す

△一月以降日

(電関千圓) (電関千圓) 五、九三三

大藏省券

四千萬圓償還

路累計

九二、三九九二、八八、〇一六

張實業部總長の發案

日本人の虐政七つき題して 東の中でも日満人の仲よく して居るのには意外の感か もつた、現に上海民衆には

一ラ婦女は全部御足を強制

では第されたので一般に信 を報導されたので一般に信 を報導されたので一般に信 を報導されたので一般に努力 は大海の街上よりも安全で は一番が判つた、支那奥地は勿 に要力 は一番を見て 最の と下一致建設に努力 は一番を見て 最の を発して まるである

十二月中の

外地の貿易額

人超五百萬圓に上る

13

芸泥の差です くど見るど

(京した上海商 満洲國の實情を見て驚く

大、役所は日本人監督で監 親し地方も各村落に至る と して書る すれは調べもせずして銃 取引をしたいが信用ある商人ないか」さか「お衂の商人ユ 南足を現へ度いる秘書に命じ では中々蟲のいて往文がしきりだ。中に は中々蟲のいて往文をして乗 あのもあるやうだが、結局領 洲に闘心を持ち済人商人る場 で要りばない、最面目な最続 に變りばない、最面目な最続 メフキリ増えたのは「瀟洲図

「向通」商用の名入京した上海の実特産商の主人場某氏は海の実特産商の主人場某氏は南支で聞いた漢洲領さ實際に見た溝洲各地の状況が除りにも相違して居るのに驚いたさら日本軍の監視が嚴重で室内から一歩も出られないことをおするのでピクピー

直ちに各省實業隠に向け右調 も大賛成、 した所何れ 告か省を長くして待つてゐるころ張總長各地よりの結果報

一々懸切な同答を與へて居たが、最近では照替訳は山積すが、最近では照替訳は山積するばかり、此のために二三人の役人が借り切りさいよ有様に、即ち日隣健療は商人からた。即ち日隣健療は商人からた。即ち日隣とも身の廻りの「販賣商品の主要なものを一に販賣商品の主要なものを一に販賣商品の主要なものを一た。翌日役所に出勤し側ょう。翌日役所に出勤し側ょう 預金利子引下問題に関し協議形交換所は十三日の理事會で **致を見た模様である** の結果近く引下断行に意見一 預金利子

Cパリー十二日於戦通」 賜暇 一の途に就れた 日の途に就れた パリー競赴日す

『無縁ですわ』と、真体ではづませて合概をうつた。

子は息を

に出來ないと、

り節りまし

奴の手に凝したくはありませんかけれど、あの、は、まじも、あんな

鮮農の自力

した顔から横にかけてい

といふ略・信雄の郷帯で斜に脈

に入つて機めな生活を爲す者 農中昨年來の不作の爲め冬期 から 先づ製繩副業

を始め多数會社の重役を乗扱 は突如財界艦 信強備期の大蔵省券四千萬圓 信強備期の大蔵省券四千萬圓 間の協議を促すさか。又富業 共同に中間に介在して當業者 共同に中間に介在して當業者 世ず、自力更生に生活向上を 野甚しき十ク所の鮮農部落に 繁甚しき十ク所の鮮農部落に 整甚しき十ク所の鮮農部落に 杉一雙するや短期賞金は矢の が一雙するや短期賞金は矢の があここが全く不可能でなり するここが全く不可能でなり は経管 上蹉跌で來し破綻に陥つた質 中であつたが今回朝鮮人居留橋係方面に於て種々對策協議協議のに於て種々對策協議 尚此種の副業的事業を異す筈

12 30

森本モマクラドリ

鬼を関す。

いかすらやありませんか。 そこで、 かすらやありませんか。 そこで、 自分にちで勝手に残って行くとぬ でも、棚手が窓いんですから、 こっても、棚手が窓いんですから、 ありませんか。こッそりと何處か、 あの恐ところへ、お即つ難しになつては ところへ、お即つ難しになつては

八南指

荷

から寄せられてゐるが、最近しかも有名な親日家で、感謝めの手紙が雨のやうに内外

澁澤正雄氏

財界隱退を聲明

崩落續く

絹糸市場

工業金融と

銀石總裁

結城豐太郎

者さ金融業者さの間に聊格を保つさかして相互の理解を進 きを目標さして動告、裁定統 部を行ふこごに依つて經營の 困難を排除し実礎の建て直し を助成するこごが出來やっこ

等さ工業命融 この關係に於て 確は債務の過多に其の病根を をする今後衛性債務の整理改 要フ、本邦工業會社の經營困

をいと、あんまり腹が立つたから ではのなから楽いと云ふので、あ しがあるから楽いと云ふので、あ しがあるから楽いと云ふので、あ しがあるから楽いと云ふので、あ

れるか更に大に發展し得るこ

きが目安さなるのである。此

債務の整理

っなに、わたしの窓の光生と構数に、 は避んでゐないで、 傾かな観きに しそんな都合のい、気がありませんよ。寒はいくらあつても、一文 かしの歌々にはどうすることも出 かんいんですよ」と、管難は自鳴 と目つかりさらにもありませんか 來るでせらから、その時にね なるというちゃありませんかし 上等下宿空間有り下宿間合せは組合事務所下宿職合せは組合事務所下宿域 日 館 へ

北門外大馬路北門外大馬路北門外大馬路

旅

館

用

近

日

開店

ですが、野鹿を云と

製佐子は、無言で、

好とは、ちいつと品が

生れ變つて

福洲部政府全種取扱 東京) 村胡田新聞販賣所 東京) 村胡田新聞販賣所 大阪 朝日新聞販賣所 大協靈新聞 師範 西田方山 据是新聞補 東一條班三二

注版第 各種製本專門 三省堂製本所 電話IIIIIIIIII 切叮嚀に治療致ます。是非一時御來院を銅騙ひ申ます句で嚀に治療致ます。是非一時御來院を銅騙ひ申ますの血液循環療法にて健康を御保ちを絢願ひ申上ますの血液循環療法にて健康を御保ちを絢願ひ申上ます。諸病氣は血液の不順より來ます血液の不順を治すには當院 見サシンはープ 健康 田 商店

女中

石 話 宣洋 四五 执行

數多柄新 ムパルアトチブクガ 加盟店 輸入組合

部賣贩館眞寫乾 目丁二町野吉 衙O九三二話電

条紐 丞 分類メ湯り お召物新入荷 御婦人方へ 店門專 長春吉野町二丁目 電は三つか二番

松 茂 半 行

个全: (禁止流)須藤 凱。 歌 秋鐘

ガ_

中谷時計店

入れて機落し標準高パ百圓の 機門を判つて七百七十圓臺。 一週間に百十圓崩落した辞で 株式伽の投げざ直輸筋及び地 株式伽の投げざ直輸筋及び地

電話三八五四

鮮米買入は

日本橋追牌前

(百十七) な です。もうそんなものはすつ の がながになる品類を出せとい しゅんです。 もうそんなものはすつ の かんです。 簡雑は火郷に暴動しながらことかり持ち出してしまったといふと D と思びます。――もう、関が断院にあるといふことを興ぎつけたというの様子のところで、は笛を吹いたの様子のところで、は笛を吹いたの様子のところで、は笛を吹いたの様子のところで、はいかになっているというという 示威運動をしてひたくらことを終始ったりして、

でである。自分は関落してしまった 信雄はしかし、別にそれが恐ろ

=

檢症月日 一月世二日

施行區域

至午後三時施 行時

太 塩及 子 塩

堂所听

間

新京市內

檢一一月十六日 一月十十六日 日日十六日

新京市內

施行區域

至午後四時 一個時 一個時

太 望及

堂 所所

おの千幡子さまをですか

ます。そんな能をするのでこざ いますか。 曲臓は出來ませんのね らなきや、どんな能をするのでこざ らなきや、どんな能感でつけなさ りなきや、どんな問感ひが認るか

かされたりするやうな事は、窓をおきれたりするやうな事は、窓をから、あんな奴勢にかどわったのですが、中がしつかりして

1、種痘後已滿五半者以及種痘而不善感(不出)者1、會未接受種痘者。但除生後未過九十日者應接受邁時種痘人

石

新京地方事務所長

荒

木

章

賃出勉強、保管確定、

使出勉強、保管確實、 学服類各種揃ひました 新京就町三丁ョ三(日花前) 新京就町三丁ョ三(日花前)

安全に排虫マクラ 鈴鈴

ーデンニクマは日本 二页卷: 汉大 店面吉友澤藤 社會大條 初春の

本 本 電話二一五八沓

一年, 中国人生一月十六日起施了臨時種痘管 等基本区像防痘瘡和見定於一月十六日起施了臨時種痘管 學種(該當定明種痘者須接受種痘以及檢療) 但生鴻痘瘡者不在此內 四年鴻痘瘡者不在此內

毛皮ショール ちな 本一ズ

田和八年一月十二日 田和八年一月十二日 田が原籍経署告 下二依り痘瘡縁防ノ島来ルー月・六日ヨリ左新京等経署告 下二依り痘瘡縁防ノ島来ルー月・六日ヨリ左新京場を 著名 第1 年後一時ヨリ同紀ノ浦臨時種瘡シルオへ此ノ限ニ在ラス 1、精痘日割、1、株々種痘ヲ受クサル省
1、株々種痘ヲ受クサル省
2、既住nク年以内ニ種痘シタルコトナキ者及種痘シタルモイ幹感ナリシ者
ルモイ幹感ナリシ者 新平地方事務所長 荒

是非御電話にて 二六〇二番 **告野町二丁目一番地** 東亞號藥房

御藥の御用は

酉

士名年

明

結果を豫 或 委員

−ャンス議長ミの會見に際してはイーマンス議長は哪盟本來の権威を保持し角質土保全。に関する論訓も なく寧ろ日支紛爭事件の全邸は頗ゟ悲觀时情勢醒にあるものでやうであるして來てゐるが十三18正午までの情勢によれば依然兩者對立狀態を續けてゐるもので如く る。即ち 打代 和協委

に對する法策案に關する詩訓も 勧告決議を無視するか

风學良の聲

高まる

この儘靜

觀せんか

學良打倒の烽火は擧らん

してのみ不参加の態度を執るべし してのみ不参加の態度を執るべし してのみ不参加の態度を執るべし **参加の態度を執るべし**

八箇師には待機命令 蔣愈よ戰備を急ぐ

9

對して一致團結抗日の最終目的を以て貫徹に努っをも参加せしめて由海關奪取る熱河防備に關す「天津十三日發國通」廟京來電によるも咬介 包 一九ケ國委員會提出 土腦部並未獨人の軍事顧問

三、米露招請問題は明瞭なろ言葉でお明せず非關盟」三し日支問題に緊密な關係を有す二、和協委員會の構成を關係少數國ごする、其數は七ク國若くは八箇四ごする一、決騎案理中書員後段の協洲國現所權に關するの部分削除 一、決騎案理中書員後段の協洲國現所權に關するの部分削除 である「ツユキーザ十三日發國領」下力ク國委員會開會を目睫に控へジュキーザの空氣は緊張を「ツユキーザ十三日發國領」下力ク國委員會開會を目睫に控へジュキーザの空氣は緊張を 請し得る事ミし甘權服を限定する 1の長き邊の聯旨を体して一年の長き邊の聯絡を体して一年の長きの建築は時節柄質素に

醒

接交渉の道を開くこ云ふ智質的に同様な意味の表現を用ひて絶れ直接交渉を排除する。リプトン報告書第九章を基礎ぎじ第十章は参考さする點は或程度盗認めらるらも直

事務局案の内容 - 観代表から外務本省に到着し 後四時に至りジュチーヴの帝 衝中で最終的結論には非ざる の考究を始めた、事務協案は たので外務省では直に其對策

会に就いた ・ 金に就いた 駐日佛大使

一、日支紛争處理の貨職盟副 中の少数關係國を以て破際 中の少数關係國を以て破際

満洲湖存在の事實を否定 して見童の心地を測験す今後がは決して排外の色彩を帶びるは、して見童のにして単校教育なすべきものにして単校教育なすべきものにして単校教育は決して排外の色彩を帶びる

世に曹し、『治十八年生の四十九歳、申京帝大田で町代議士、官を辭し爾來著述に從・『母』の名作に依り文名一岡山縣人、明治十八年生の四十九歳、申京帝大田で町代

今後の教育方針

年頭所

威

易に日く、「蒙以

養中聖功也」

文教部次長

許

さへは戸系の如く小學

ラモンド總長兩氏の折衝に成 四、東京十四日發國領)聯盟對 ※

人の言、吾等の指針さなすべ 養其良知良能」さ常に以て先 養工良知良能」さ常に以て先 きなり世界の教育家小孜々と こ佛、米は豊工を東んや我婦 起り尸、英、獨は工師を重ん は農立阿なるを以て職業學校

は三箇月を以て卒業するの制は二箇月を以て卒業するの制でなるとの制料ありて成は中年或は中年成 府立工鉄學校々参観したるには當に農工を重んやべきなり

事委員會で

安協手段が不成功の場合を豫に他方に於て第十五條三項のに他方に於て第十五條三項の時間という。 ス準崎を命じてるるので、外 想して事務局員に第四項に移 聯盟が進捗

ず四項適 三以降の我最後的行

來月着工す P

宮內省新廳舍

務である速かに大兵を山母祖國を救ふは貴下唯一の任 事務局案

つら目鼻

我代表部はつご一息 十五條第四項 は將來の决定に俟つ事ミす

海関事件後自己直系の大軍を日のかけ軽勇ましく學良は出

耐筋は事務局案の進行を知

き電報を寄せ。對日積 体行動 表部は學良に對して。 たの如 で、たの如 で、たの如

職問及び各國の同情を優的行為に出る事にと 事が最良の手段なりで信する問及び各畝の同情を得る

那は今や日本軍に對し山麻闘を奪取すべんは無関を奪取すべん

北倉方面向へり
北倉方面向へり 三。第八十四師高桂滋部除第

国○九團の全部兵力約二千百○九團の全部兵力約二千日の本漢超磁州附近より十時 四、龍炳勳勇六百十五旅弟二

支那側我要求を容る

した

軍費捻出に

(天津十三日發國3) 軍司令部發表 去る十月秦皇島支那部發表 去る十月秦皇島支那部の我演兵上等兵拉赵事件に關し我中偏隊長染谷中尉から届は我力の要求(內容公報されず)全部容れる旨明知して

大安保上上地域 「錦州十三日を観通」九門口 上城後同地東北方山地の胆帆 討伐に向った三宅技廠の一部 除は十二日午前十一時永安堡 を占據した同地附近にあった 低男軍は8本軍來るの報に風 三宅枝隊の一部 「天津十三日 強國通」 張學良は最近北寧鐵路局長高紀数に命じ天津外副銀行(香港。上海銀行)に預金せる鐵道公金一二白七十萬元を軍費に流用せしむるささらに天津文那銀行「西に對し三百萬元の情數父渉中だか銀行團は中々應諾しない。これが成立するさ否さに開けらず更に一千萬元內外の軍費捻出の爲め昨日から非常 會議を開く 學良非常財政

「天津十三日愛國史」 天津軍司令部發表、山岭陽戦に参加 ・ 大兵十五、 資傷將校以下八十八) 尚は支那軍の参加人員は ・ 大兵十五、 資傷將校以下八十八) 尚は支那軍の参加人員は ・ 大兵十五、 資傷將校以下八十八) 尚は支那軍の参加人員は 那軍の恐加人員は三 山的顕戦に参加せ

复

第千弟の為に中學を設定

マ雖らそれ志を奪ふべからず 是孟子の所謂「至大至剛塞於 天地之照者也」今や城廓未だ 完からず貸財備はらず實に國 難に非すして何そや若し新の 如き精神民滅せんか其國は必 すや之に隨て滅亡するに至ら ん、鄙人此度東遊して明治神 宮に参拜せる時其國民の祭拜 者途上に絕えさるを見忠お愛

其國勢の蒸々さして盛なるも 製氏の譜儀作法。衣服、飲食 製氏の譜儀作法。衣服、飲食 全世界の平和を計らむことすなる解释を保存し以て東亞及なる解释を保存し以て東亞及なる解释を保存し以て東亞及なる解释を保存し以て東亞及なる解释を保存し以て東亞及 の念を覚えざるを得ざりき

大のでは近い、さらしました。 者の忽せにすべからざらこころなり近来小學教師の積をここあり て生活の窮苦之に過きるもの なし是を以て優良の教師は海 ろ他業に轉して顧みさるに至 る質に憂ふべき現象なり夫れ 観寒い迫っこころこなれは慈 母き雖も亦其の愛子を保養し 説いさらべし教育に於ても亦 然り本部は今後教員を檢定し 以て を保存するこご肝安なりさす 人の最を採り人の短を乗つべ 会なり而して最も自國の飼粋 て忠臣忌牒に義を重んじ匹夫 浩然の氣を養ふに在り是を以 浩然の氣を養ふに在り是を以扱っ儒奴眞止の精神は其忠燮 **外卒業するに至りて止れここ**

るべきものた

なった、新騰舎は四階建の 外相の外交 あいかに 餘鸟園を

の関語で正式決定する事になの関語で正式決定する事になの関語で正式決定する事にな 備洲國に對する帝國政府 南さいふるのが組織された。 南さいふるのが組織された。 南では、十三日外務等係友 の開進を計らため少肚組の興 高の関連を計らため少肚組の興

の閣語で

の態度

一、 調整職盟・對する政府の一、 調整職盟・對する政府の調整に對する 日露不侵略條約問題其他 外務省若手組

のである のである

能呼はりされ、反張的色彩濃 後で興良にして此盛解觀せん 様で興良にして此盛解觀せん

居る

▲森島留町(奉天領事館)十三 日午前九時奉天へ 会部)十三日午前八時ハル ピンへ 人大川航空中佐(新京級區司

外交員募集

良封倒い烽火を揚けるは必然 的で學良失脚の溝は愈々深ま り來り熱河方面の形勢推移こ り來り熱河方面の形勢推移こ

事往來

なき付して來

飛行機、自動車火砲等

對疏政策に關する政府の見

置かれめこばかり、帝國外交時に首脳部ばかりに任せては の若手外交官は此の外交非常

ー名で僚友會組織

か出するものは大正八年組以十余名、各年から一名宛幹事を選び。課券以上はメンバーを選び。課券以上はメンバーの月中に開き顧問題を中心に討論する箸である

機", 自動車の供給を受け他のである。その購入に力をそそるでは、本の購入は外人の名では、取引は上海。天津にて行はれてゐる某詞よりは飛行 雑軍相繼ぎ 某國から購 學良戰備いより 東國からは火砲。機關銃、彈 ・ 他學兵器を購入してるる ・ では最近塘沽にある外頭汽船 ・ では最近塘沽にある外頭汽船 ・ ではるでは、 ・ では、 ・ で

総に北上方を相談した處。何 の一覧の適任者なく行惱み中である。 「はいった」をはれて病氣

希望者は履歴書携帯

午前九時より正午まで御來談ありたし

社員募集廣告

大連新聞新京支社中央通り十三番地

明治生命保險株式會社

なる

雑軍の配備

か賣致します か賣致します か賣致します か賣致します

卸

善生堂醫院前

3

ハイル

コサチ

今回傍系雑軍の大部隊を引き 支那側が不法行為に出でざる平津地方は手薄さなつたので しつこあり、日本側はあく迄秦皇島及熱河の前線に集中し 入れ而も相當重要地點に配備 北平通過前線へ

軍の废命国上計画的なる移動の、事件發生以來斯る支那の、事件發生以來斯る支那の前線、關納動軍の前線移動に引起動しつと は左の如し(配入時間は北平十二日より十三日に至るも停止せず **鴻過時間**)

純日本簞笥

洋家具

製造販賣

内地ノ職人ノ作ツタ

室內裝飾二

高尚ナ簞笥

~

極ク上品デス

唐山方側に向ひつくありまカは十二日夜より泰皇島 は記し、東半の責任者を に對し 中央より、軍事の責任者を に對し 中央より、軍事の責任者を に對し 中央より、軍事の責任者を に對し 中央より、軍事の責任者を に對し ので要求して来たので蔣は何應 のでをとして十一日蔣介石 のでのでの記憶は混っている。 のでの記憶は混っている。 のでの記憶は混っている。 のでの記憶は混っている。 のでの記憶は混っている。 のでの記憶は混っている。 のでの記憶は混っている。 のでの記憶は混っている。 のでは、 のでであるが其の移動状況 は目下判然さしない。何れに しても管内各軍隊の配倫は混っている。 のであるが其の移動状況 は目下判然さしない。 のはに記っている。 のでの記憶は混っている。 のでの記憶は混っている。 のでであるが其の移動状況 は目下判然さしない。 のはに記っている。 のでであるが其の移動状況 は目下判然さしない。 のない。 の

聯盟の同情を得よ

支那代表

から學良に電請

日積極行動

附近より楊村及北倉方間に時三十分に亘り平漢線寧普 午後九時より十三日午前一 新編編立第一師は十二日

偽勇軍首領柱芳亮 北平へ急行す

自動車で熱河經由北平に向つ良の召電により五日華僑會の良の召電により五日華僑會の

新京三笠町四丁目五

憲兵拉致事件

紅玉リンゴ(百目金十二銭)一箱人のモノモアリマス 着荷案內

季節に應じ

酒よしの味よしの女よし

参謀次長から

(E)

固を加へたるを慶賀し 参加 勝兵の勞功に對し深代の御成功を祝し、新春さ共に禰洲國礎の愈々堂たる 靖洲 吉林省県境方南及三角地帯に於ける討略案:地形の嶮壁さを克服し、 勇悍適切に行はれ

の機

0 きのふ新京の街は 日金曜日 果して平穏でしたか?

つた定めし選近の港々の船員漁天達も「今日ばかりは」ご屋内で 事なかれの一日を過 心さして現かう したとこと思はれる。サテ新京を中心の十三日金曜果して魔日であつたか警察を中 十二の数字さ金曜日は余りに好まれなくなり、諸事この日は控え目にするやうになきのふは一九三三年最初の十二日命曜は歐米人はさるこさながら最近日本人間にもできる。

鐡道の降客は 却つて多 乘客はや減少す

宿屋祭利取締にふれ告録さる下宿屋告顧日本橋皗北海屋下

下宿屋告發

千三日同乘七白六十三人。 鐡道も無事故 降 千三百二十六人 命此外 ジャバンッーリストピユーロで乗車券を登覧したもの、連絡切りによる旅行者の乗降は勘定

なす

ボヤ二件

「威通」 満洲底に於ける一般 ・ 一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないでは、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないで、一般ないでは、一般な

行所有家屋を約二割の値下を蓬萊町にある日本橋頭平本洋

家賃値下げ

無く殆ご定時に運轉し好成績 無く殆ご定時に運轉し好成績

である。

出を拜する

法権撤廢の前提

法院の組織法其他

集ひ 中五日朝西公園で行はれる日 かの出を拜する集ひ行六時二十

警備充實の満洲國 夫(四)は赤痢病にてそれらく 同職生町正金銀行社宅石摶和

新しい企

(超通) 満洲観並びに在隣日本側震局に於ては『満洲観の砂側震局に於ては『満洲観の砂側震局に於ては『満洲観の砂側震局に於ては『満洲観の砂点」目的を以て近く實寫のトーキー映髙撮影を提供するべく期待されてゆる。 殊に注目すべきは満れてゆる。 殊に注目すべきは満れてゆる。 殊に注目すべきは満れてゆる。 殊に注目すべきは満れてゆる。 殊に注目すべきは満れる。

王司令は歸順に反對する一 を長を監禁して誠意を表し 子方順に逃けて來たら之を 攻撃する計畫をしてゐるか りまで、計畫をしてゐるか

王玉振も 歸順を申込む

使者を朝鮮部隊に

裁さを依頼未だ呼みを見ぬ 死亡はたい

二歳の可愛盛り

滿洲國紹介に

海洲國へ送致 ・ 取調中であつたが十三日 ・ 取調中であつたが十三日 ・ 取調中であったが十三日

いてる 窃盜犯人

死亡、兩親初め親族は皆なけずい。 南親初め親族は皆なけずい。 「一歳」さんは可愛盛りの前なやんであつたが頭部蜂巣で暑寒の中寒なく十三日陰に

傳染病續發

きのふ中で四人

管都警察職並に新京總領事舘 十三日中に交頭事故並に司法 犯罪は一件も發生を見なかつ た、これは開署員の警備充實 によるものである

へ
松容
同日曜
町一丁目
和井昌子(六)は十 室町一丁目
和井昌子(六)は十 三日
日本
村田
大和浦向井素技子(一)及 日満當局の

決要より 武藤順東軍司令官に對し 掃匪完了で祝電

「東京十三日 報酬申」東等の 西南綏芬河上流に縁居して居 る王 *振胆は東部線方面に於 工徳林が東寧を敗退して南に 下らんごする大勢を知り弾呑 にある我朝鮮部隊に使者を派 にある我朝鮮部隊に使者を派

家屋造作の事 警察へ から

市内祝町浦杉某餅、綿、布側上にて北門の渡邊某馬一頭を盗まる 願ひ出 へ送致した 盗難二件

城内は無事故

理の弊を打破して一瞬三審制 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 を取り入れ、最高法院、高等 をなす法院編成法原案の慶の前提ミして司法権の根幹 準備進む

度さなすさ共に司法權の殿正 を保持せしむる為め現在両り 法院ご檢察院を分離獨立せし むる外理事の名稱を發し清朝 末期の名稱に選元して審判官 並びに檢察官さなし、根本的 に司法機關の基礎確立をなす 事さなつた、尚これご同時に 律師法(響酸士法)を制定し律 統制監督をなす事こなつた 一 後人 東質の向上、
の居出制を
の居出制を
の居出制を 「大連十二日 展域 3)十一日 ・ 大連十二日 ・ 大連一日 ・ 大連一日 ・ 大連一日 ・ 大連一日 ・ 大連一日 ・ 大連一日 ・ 大連十二日 ・ 大連十二日 ・ 大連十二日 ・ 大連十二日 ・ 大連一日 ・ 大連十二日 ・ 大連一日 ・ 大連十二日 ・ 大連一日 ・ 大連一 ・ 大連一 ・ 大連一日 ・ 大連一日

地の兵匪も殆ご掃蕩され講館氏の御奮鬪により頑洲各

さが出來ない一日も早く側 ではあるまい我在 ではかりではあるまい我在 ではかりではあるまい我在 ではかりではあるまい我在

族さ嵐の歓呼に送られ一路字 たれに答へ午後四時打振る園 であ中尉は傷病兵を代表して

第00回6億病兵二十

〇五八二

一四二大六二四二四二七二四二七二

生駒雷遊等

四平街來演

傷病兵二十名は十

▲三多 四二、九五、八一九 三二、一三一・七五、一四 七二五七十六八、三六一、二 二、〇九〇

(四平街支局登) 来×三十日

開花の政千代

よう・今更知紹介しては明花の政千代で由

が映畵撮影の合計は未だ決定もた復州の前にい沈默するでも生まれるよう。

九日伊彌縣下三台に以て解財代中敵弾の爲に名譽の戦死 原憲兵曹長の壯烈なら武動を 永久に記念すべく這程常憲兵 分隊に於ては戦死の地に不由 戦死記念碑を建立する事さな つたさ 記念碑

左翼論壇の某博士が

調息を超つて居た左翼論圏の 本たが観念して今日窓の行動 中後今日窓中蔵に亘り消息 を経つてるたが加納某の家宅 に潜んで居たかをの愛弟子某 に潜んで居たかをの愛弟子某 で表たが新音早々某重大事件 はれ常局では博士の所在を追 はれ常局では博士の所在を追

ポプラルに於て歸順した陽慶 緑のは順部線二千五白は十三 日年前六時間地酸ハルビンに 「は古林軍第七旅が雷る筈で こは古林軍第七旅が雷る筈で

「東京十三日砂廼館」久しく 檢學される迄

故北原曹長

た、當局では博士の如き學者 が永久に興界から姿を消すは が永久に興界から姿を消すは 情じいから行きがかりを清算 情じいから行きがかりを清算 情じいから行きがかりを清算 情じいから行きがかりを清算 をが、博士は某重大事件の 本流に重大な役割を何じその さこの二年間に全財産を之に あり次女梅子は阪急百貨店に あり次女梅子は阪急百貨店に

(婦州十三日最國通) 力門口 小林多謀長等 錦州に凱旋

要都市に 車で凱旋した 中で凱旋した 車で凱旋した 而通行備隊

哈爾巴嶺附近に

匪賊襲來

發育式に

ルピン辨事所

國立病院開設

本年内に主

第二師團の

凱旋完了す

を撃破

北京古教線哈爾巴福譯東北方 九時古教線哈爾巴福譯東北方 一軒家附近に約四百の匪輕顕 をに〇〇名出動交職二時間の 後これを攀巡したがこの戦闘 に於て領事館警察巡伐井上要

春場所角力

初日勝負

禺魁殘匪

「一時八面國東方十里の周肥山一時八面國東方十里の周肥山一時八面國東方十里の周肥山一日午後

凱旋を終つた 飯塚枝隊の猛撃に

」超遂に降伏

四名故國へ

は や十五日

河方面へ逃げたが息もつかす 場合さ雲清に引揚げた 撃によりその根據 地雲 清邃 技隊は丁超を監視しつ・意氣頭丁超は我が飯塚討伐隊の攻 にカ霊きて降伏したので飯塚 のかいじン十三日を幽幽」北 追撃した飯塚枝隊のために多

我軍意氣揚々引揚ぐ

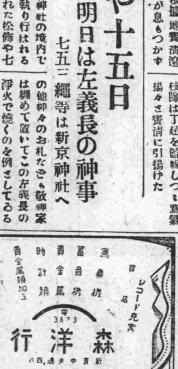
肩ま取突ま すき切出き か落りし落し

離愛外可小(資) ノノケ愛野() 化花渚嶽錦 つたつて知らない、何しろりいこさはありませんか、易のおこさはありませんか、易のはさきが、まちが

の如し「東京十三日産國博」角力春

七九雷大金 尾州 の 湾山山濱湊

623 ルコード充実







第三回彩票抽籤の結果

四七





に集めて焼きすてるので、そ た競長の神事が執り行はれる た競長の神事が執り行はれる に集めて焼きすせぬやう一處

また當らなか

つた

申別催日時

新築落 本日開業 **滿洲國人の参加大歡迎** 成 主 電 के

街

某大官の 警視廳が秘に取調 長男

協衛戍病院に回った 同四は三十分新足は列車で鐵

村落を掠撃しつとあるを奇製 思二十二を資業して八方に四

關慶錄等

ハルビン

沓掛古寺兩勇士

を市内某所に引致酸重取調中 東大事件の検界に大活動中の 重大事件の検界に大活動中の 重大事件の検界に大活動中の 重大事件の検界に大活動中の つて開花識は何存知でやうがも座敷に出る時で遠つて公休日の姿は見ちがへるほご遠つて公休

四、十五日の天氣模様は一度力、最低同二十三度

南西の風晴

氣

オ糖

東京に八、三〇 時報東京に八、三〇 時報東京に八、三〇 時報

なつた多数来場を歓迎するこなった多数来場を歓迎することでは十五日から向ふ二週間商店は十五日から向ふ二週間商店は十五日から向ふ二週間商 一五日から たやうに記憶しますから、博 を、ごこかのマダムのやうに を、ごこかのマダムのやうに を、ごこかのマダムのやうに を、ごこかのマダムのやうに を、ごこかのマダムのやうに たさうです 新京后八、〇〇 ニュース (朝鮮語)

タイピスト募集

調を受けるかも知れないが、場者の商賣の邪魔になるさ抗

不安の氣漂ふでは対すれてある。不安の氣漂ふでは対すれてある。

開魯一帶

滿洲

協

新

京

處

-2 ゥ

で勝田秘書を伴ひ出録したに出席のため謝れ変總長は十四日午後等時半新尔登線長は十四日年後等時半新尔登線長は十四日のため謝れ変總長は十四日の 進ぜるここにした。但し口へであるここは勿論ですがら懐に相談しなくてもよろしい十八歳は111碧51木戸、住は砂の中の土です。前年の隋5で会にのいてから見たここは勿論ですがら懐に砂水の岩がある。彼氏のここについてかごうか。これは表向に發表を消ける。一月の遺勢だけで云ふこ、石コロの運動だけで云ふこ、石コロの リサ年の運勢を観て も旬日を出ずして容易に全治する事を得 マチス神經痛の如き容易に治し難きもの 鍼灸治療は醫術の補足と見る可くり

で ・ 熟セキ止メ肺 炎の妙葉あり 能障害を胎すこさたしの瞳物は切開せずして治療し瘢痕或は機べし其の他瘍、チョウ、セツの如き一切 新京室町三丁目七 公學校前 吉 堂

鍼灸帥 動七學 吉 田 療

年風ハリウツド式 新京常盤町一丁目六番地二新京中央通大阪屋號川横町 フリージャ美容室

純

本社主催 新春 愈々來る廿一 圍碁 日開催 會

來る二十二日(日曜日)正午定刻開催 金五圓 (千鳥)

新京日日新聞社

話 客 0 室 Ξ 設 備十 あ有 餘 9 ま各 す室

富ホテルグリルルー ムも近日中開業致しまう 新 京中 電話代表四四一 央通三十五番地 私設 北部三十五番

なべて、たら、たら、さい気を、それの涙は、せいました。

連中がかへつてきた

(型錄進呈)

代理店

阿

し竹食労

お曾料

府通電話二七

四番

B

製作元

カナへ商會製作所

鋤ち

焼り

水寄

戦之助はつさ、膝をするめて



人のきらふ券該にたやむ他を そこび考えてくれるのは、観 をこれるのは、観 のく決心を致した! な壁之助の言 京をた

病氣を何ご見る世日の大會議な4、だが、雄馬、君は俺のな母窟をこねまはす場合では だが。 だやっ! 雄馬 説くならば、多少 つぶつて、俺に決行させてく

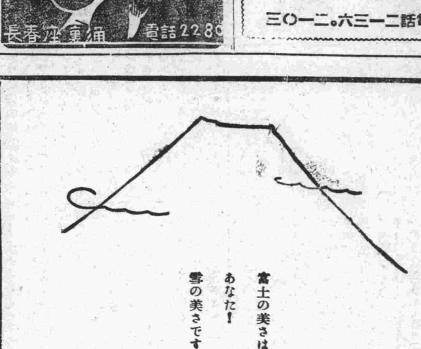
記くならば、多少は考へ直すただ。死をもつて佐渡を爆練 ただ。死をもつて佐渡を爆練 ただ。死をもつて佐渡を爆練 俺も最後まで、天風組の同志の、おもふさま働いてられ、 すでも、大義につき、藩のたはいけない――雄馬、私情を



唐鲍紅淚双







御用



(満洲國向美流七宜燒物數)

てゐます、是非一度御出向きを顧上まず、「一度御出向きを顧上まず、「一」

泰 利

電話三十六九番

美酒佳肴

級 高東美 表彰品御 **金 華 號**

御

料

種各

撫順炭



338

店計時藤佐

二一空町四丁目十四番

雪の美さです 富士の美さは

初春の衣裝

② 村岡吳服店 電話二一二四番

店の

新柄陳

列

元

窯

香蘭社販賣所 日田漆器代理店 有田燒卸小

賣

迅速叮嚀級 冨士タクシー ◎開業廣告 富士町三丁目

電話三二九五番 吹戸た 雪外とではへ 流

新

観之助にに、それが、全く、明日をもしれ

と、感激してゐるのだ。明日をもしれぬ重病の、明日をもしれぬ重病の、明日をもしれぬ重病の、明日をもしれぬ重病の

服オーパ其他色々

博多屋を

保管確實

富貴紙原價發賣 支店 電話四五

音種町二丁目の電話ニセー 龍 九二番 五五五番 御旅行者及一般の御便宜を計る為左記取物を致しますから御利用願ひます一、一一、長春驛發送手荷物、小荷物の蒐集及代理託送一、同到着驛留小荷物代理一切迅速確實に取扱ひ致しますから御利用願ひます。 おいの節は一切迅速

新京中央通十一番地

特急ハト

新京九時急行營業

電話三八四六番 祝町二丁目三ノ三

电話三四九〇番

慢自

長崎カステーラ

峯のモナカ

製料

入一

満洲國金五色美

女孃二名入用

(通濟運輸公司) (通濟運輸公司) (通濟運輸公司)

割烹藪。這四四五番 割京 数 美味萬點 意三四四五番

朗なかホールさ

スキ焼。鍋物類

スマ居テシ待御

新年會の御宴席は是非 特に勉强如何様にも 嬉野へ御用命の程を

花も實もある暖

い朗らかなホー

特に御相談に應

す

カフヱ

電話二三七九番

勉强第一

料理は江戸前

勢妓好感

ビス満點 支 店

三笠町三丁目 電話三人CIIY聲

『キッスイ』の喫茶店が生れました しるこ……

したから一時も早くお求め下さい。 お待たせしました、 軽圧環特の

本社 奉 天創刊明治三十九年、馮洲に於ける漢字新聞さして最古の歴史を有し、多年扶植培園では確固不動、滿洲及び北方支那の言論界に於て、断然之の王座を估む、實に滿洲の文化的開發と指導の最高權威也

電話二四六八番

力

形荷揃

殿物各種国小林履物店

電話二三四四番

何は要革されるのでも無い事がかれるのでは数な高を前にして帰規規約や不暇條約擁護論を一常辯じ上不暇條約擁護論を一常辯じ上の遺伝の答案のという。

して濟み県二陣地も日本の陥れた魔さなつた。 中や日本き扇盟は塹壕戦の最 日中に在る。日本動駒盟の外 を戦 舞臺裏に在りて管質上 小頭を踊らしてるるのは革佛

た共和黨が炎然ご聯盟ご提手して對日共同戰線を確立せんさするのは民主黨が秘かに職語を願らさんこするの美違に関を願らされて一九三一年度の支押貿易の總輪入額が光減6二十八%第一位を占め日本が二十三%の第二位に関係されて一つある事實を看なければならぬ

フリーが排洲國不承認を 帝國の一屬邦愛蘭C 選相

壽府に於ける

國際外交戦の展望日

をして又印度支那さ雲南の勢 力維持き歐洲大陸では復興週 カ維持き歐洲大陸では復興週 地間際軍縮會議を通じて日本 で提手せる佛蘭西の日本に寄 する好意も亦壽府外交戦を日

造り直し、機ぎ足した。他のに十、除馬を擁するに使かに十、除馬を擁するに

らぶれたもの

各商店學

捲土重來の意氣旺ん

に準備委員を任命、大同二年 中本がに日本各中級卒業生を中華がに日本各中級卒業生を中華がに日本各中級卒業生を中華がに日本各中級卒業生を

に設立本經費自金萬圓 習を行ふ事こなつた ので、創立準備愛が追 大啓蒙運動を起さんこするもので、創立準備愛が追 大啓蒙運動を起さんこするもので、本年二月一日より開

を計上。本年九月一日より開 教育の根幹をなす全域数員一 裏八千名を順次称京に招集し 三個月の短期講習を施し、 環 代的な教育學の調習をなし その素質の向上を計ごさ共に その素質の向上を計ごさ共に

福祉は等で改稱し、 議所國の 出現は目下國務院法制局で調 管中の政府各部採用法規。 法 全の刊行さ相俟つて従來支難 被裂であつた資体法並に手續 被裂であつた資体法並に手續 が表示に手續

教員養成や素質の向上等 • 特度郵定

翔

土重來の音氣込みで營業を開 対別にすれば 大別にすれば

しいものさ 従來當地に 殆んさなく日新ら

具体案を作成中

大同工黨支店(製闆測量用

松井電氣(電氣器具) の日本内地よりの著名の田本内地よりの著名

れて居る。司法権権立に一

質易館分館か日立つて居る では商品仲介斡旋の大阪府立 ては商品仲介斡旋の大阪府立 では のまし 成中銀副總裁 需品商會(軍需品)

負債整埋案

山成中央銀行副總裁は北福金山成中央銀行副總裁は北福金

和洋家具、敷物

掛、文房具

洋品雜貨、

建築材料

會提出が確定さなつた

「國語」司法権の基礎確立に 全力を傾注して居る確別國司 法部では昨年四月以來稅意日 本の大法全書に比すべき確別 同法令全書の編纂に努めてゐ たが、漸く原稿整理を完了、

法會社法を公司法。商標法を報酬法。相續法を權承法。商標法を顧示法。商標法を權承法。商標法を權承法。商

(東京十四日韓國通)後藤豊相は昨十三日午後三時半高橋相は昨十三日午後三時半高橋相は昨十三日午後三時半高橋間して米穀統制案を設けた。 之と同時に石黒次官は大融省に黒田次に石黒次官は大融省に黒カ官は大融省に黒カ官は大融省に黒カ官は大融省に黒カ官は大融省に黒カ

「四半街支局後」來る二十二日の呈瀬戸外デーに於ける短前の催しは小學校リンクにて大力・競技大會を開を終了後スケト競技大會を開を終了後、スケト競技大會を開を終了後、スケト競技大會を開を終了後、よりは結場おしる粉の饗應の官傳送行列を属すこ

な数に上つて居るが、大連、
打縛く世界的不況にあつて閉
店を余儀なくされたのが意外
店を余儀なくされたのが意外

を天等で着電な地酸を占めて のあか数の商店は建設ご同時 に新京の前景氣を常込んで全 が上端を新京に移するの。又

交戦が日支紛争を中心さして のみならず英佛も同じ心境に のみならず英佛も同じ心境に 在るからだ、米蔵も亦帰盟外 在るからだ、米蔵も亦帰盟外 大望を有する以上関心であり、対して覇権を確すせんごする

中へバラまいた。とした、気管の単に住む無名の簡響者松井の単に住む無名の簡響者松井のではなった。というでは、 地をはふか、その物の

まれた哪盟臨時總會も大渡瀾 年6日本に致命傷を與へ得ず 一理中だ、

得ない、

防寒帽子、其他防寒骨子、洋服、手供外套、洋服、手服、手 支店開設と毛皮廉賣

油衛水煖機 脂生道房椒 塗陶用材工 料器品料具

目種業營 ヤ川日膠セ東マ崎進着ン亞 內外洋服地並附屬品 一防水劑「ウオータ 製ルグリ ラ網スユイ製

詰物物物 卸商 1

鑵 漬 海 乾

電話二〇七五番 商 品川洋行新京支店 電話:[5]本橋通 親切 叮嚀 實

地場銀行を御利用下さい首都新京に唯一つの

三笠町三丁 **會社 長春質業銀行** 目

話二心里四番

電話三七二八番

吉野町 一丁目三番地

辯

學護 士士 原萬千 百 Zammunimmunimmi

法律顧問及鑑定 諸契約書の作成 黑田實法律事務所 新京ピルデング二階十九號

みしま 吳服 語二五三五 店

弧 呈

フェデラルへ自動

きゃつ、すぐに施羅の手をなると、「なると、「戦空にきゃつをなければ救はれたい。つまり、戦空にきゃつをない。

建築材料商

水上度量衡製造所水上度量衡製造所水上度量無限製造所水式會社工英社の場合を製造の社工英社の場合を製造の社工英社の場合を製造の社工英社の場合を製造の工具株式會社工英社の場合を表現る。

支店 告 林 城內電話二九二五番電話二九二五番

法辯

その自

を出しかけたやうに、神でつらが怪しい。 ほどれついた 付よりし、何よりし、何より

った、その白野の施雅 で、その白野の施雅

CHINITISTEES.

營業品、目

防水工事請預確安談工事請預

annimm

策動してゐたマ氏を罷免

「マドリッド十二日後國通」 スペイン政府はかつてかめ側の首領取ごなつて廃んに反射をやつてゐたが同國聯盟代表マダリアガ氏を罷免し來るべき十九ク國委員會並に聯策動をやつてゐたが同國聯盟代表マダリアガ氏を罷免し來るべき十九ク國委員會並に聯策動をやつてゐたが同國聯盟代表マダリアガ氏を罷免し來るべき十九ク國委員會並に聯 前冊事並びに大阪商工會議所殊に破、砂糖、人絹、バルブの染料肥料に就き工業クラブの 産業統制運用に関する特別委は十三日午後二時から本部には東京十四日發國通〕民政黨

員會

民政黨特別委

外務省着電を綜合 は、協別或は満足なる成長を はし居り列國及聯盟は帝國 なみを非顕する態度をそめ な正な措置に矚目せよ 、支那に對しては帰固なる 中央政府の建設が東洋平和 の第一要件で此の點に關し 帝國政府は内政不干涉の原 別により能ふ限りの好意的 援助を與ふろ警察の友誼を

に外務省署の事務局案を綜合を我代表部より今日迄部分的で東京十四體國通」籌府に在 するさたの頭りた 十一日の總會決議ごリフト、和協處理に富り昨年二月 ン報告書第五章を原則的に 採殺せんミす 五條三項に基く和編手段の日支紛爭に對する 我訓令遅延せば だが我 りご明記する事りご明記する事のでは、機會にかわり和協手段をしているのでは、 會經過の報告を受けて總會 に再報告する明日を三月一

だが我修正案を部分的に承認尙米露招請如何の部分は未看

有するものだ

政民兩黨の 端並に奈良支部發育式の件其 のでは十三日午後本部に幹部 では十三日午後本部に幹部 かある十六日異會の大阪支都で を開き生づ山道幹事長より を開き生づ山道幹事長より を開き生では一三日午後本部に幹部

委員會は形式的に

たる納得させら難事業が残されて居り、他方日本政府の訓令が果して十六の十九億國委員會再開前に開いた。第一訓令が遅れるので所にに合ふか否かは今の慮疑照だが、第一訓令が遅れる場合はポカルの十九億國委員會再開前に開いた。 京に隣し軍政部では左の競表軍政部最高額問多出少將の上

て來た。

問

員官に承認を求める外で那側

さなるものさ見られて無

3

丁六日の再開には

不揃ひ

タリ連絡兵 支那兵に虐殺さる 所で今度の問題は極

る友邦さ窓切協調を要するの之を敢行するに躊躇、るもの

の東上を見るに至

た、勿論痛刑國ごしては聞よれ、勿論係方面ご打台せる事さなつ

上京の途に着いたが十

り自衛上必要なる端置は獨

多田少路は一月十日大連出帆を町少路は一月十日大連出帆の三種想せられるに付いる側には一月十日大連出帆

件は此原則にて整調し自主 素より歐米諸國への外交案 素より歐米諸國への外交案

(ジュチーヴ十四日酸劒通) 一次日午後再開したい窓向で英 一級明の急先韓スペインのマダ で云はれチェッコのペチッシュ外相も來霧が遅れる模様で こ云はれチェッコのペチッシュ外相も來霧が遅れる模様で

協調にて國際親善の促進を

たらしむることは二十世紀をたらしなることは二十世紀をたらしむることは二十世紀をたられ違的精神であります。幸にして昨年三月彼の地に成立せる新興備洲域は三千萬民衆の熱烈なる希望に生れ王道樂土の新天地局接を連想とするものでありまして之が健全なる最達は東亞全局の事態を安定し水遠の平和を確保する唯一ない。

らべきは我國民の深(信じて を受けまする所言な 観氏により丁解せらろらさ

一の道であるき確認致

て此我政策が東亞の平和を保

號四十百六千三第

外相

の演説 滿支に關す

外務大臣伯爵

内田

頭

所

りまして今や此の方針は實が發達を助長して居るのでも 菩隣の誼を厚うするこ共に

して居るのであります。而しかすべからざる既定万針を営 かすべからざる既定万針を営 おき財政の逼迫なる

に其極に達したかの觀があ に慶賀に堪へわ所であり、 悪濃厚なたものがあるの の大事に常らんさするの

劉外交次長

保を北上せしめたが劉は* 傑を北上せしめたが劉は* (天津十三日 發詞通) 學

苛飲誅求に 表面化 住民の反張

近に駐屯して待機中であるが「寒火十三日登國通」、張楊良 政友の質問者

南な問題か口喜六氏第三陣以政治一般濱川總務。第二陣は政治一般濱川總務。第二陣は政治の近り決定。

中 地方住民に一畝※り一関北銭 が は極度に激昂して反張熱が表 が は極度に激昂して反張熱が表 (東京十四日を國語) 荒木陸 相は前田 秘書官を部同して 十四日午前九時東京極優西下 した。各古屋に於て同地方に 於ける軍事工業關係者を招待 して縣談官を開き十五日は名 古屋維鶴公園で行はれる愛知 「本兵の六麻除を視察して同地方に が成る上十六日午前名古屋 一年後九時二十分東京縣著歸京 荒木陸相四下 名古屋で懇

藏相反對の意向

露領遁入判明

米國粉の

本 案に就ては大体質成なるも同法により必要なる資金の利子 協康資鑑の點は之亦純体反動の窓向を表明農林常局の再考を求めた 開魯の

集態は"遼・攻撃の機管を狙

◆六年十月又豆一、二一八高 樂一〇三小米三一七包米三

現大件錢數數票 九九 發票 對金票 九九八 發對 相場

九九九九九九九八二五〇〇

高(單位+口順)

兵匪軍內譯

米穀法、負債整理案

題砂田政重票適宜谷壇を対け、産業

四日午前十時っすりる丸で上 (大連十四日發國班) 伍堂城 (大連十四日發國班) 伍堂城

分子の反満 秘密會議

先物寄付 杂、豆 跡

光光 空丁

平街打切貨物到着 四平街驛中心の 貨物動き四 六年十月から 七年九月まで 本取相場(+四日) ・ 1回覧 三班丁 ・ 1回覧 三班丁 ・ 1回覧 三班丁

大豆 三 50 出來高 京 取 相 塩 出來和宝篋庫 現物10.8.30 明 10.1元110 安 10.1元20 明 10.1元110 安 10.1元20 豫算總會で小川郷太郎氏が乘 ・一般政務財政問題に就て質問 ・一般政務財政問題に就て質問 ・の決定を見ないが本々議では 方民政策は未だ最後 り一段財政評價に願する件、爲替 外交問題に關する件、患材對 策に關する件、主さして優村 動情整理さ肥料問題、中小府 他各地の政狀を詳細に報告し

部骨を十九日全体會議を記された

別するこさでし 十七のき休日明け劈頭に徹

日 諸を開く を開く を開く

起用は眞平 **汉國民黨者**

震運動に出て居る北支將領を東京の軍事に於ける反張分子の関係では國際を理由さして、中央では國際を理由さして、

砂田半殿東武爾氏が

出すこさになっても

來議會提出 **6**省重要法案 事變勃發の爲損害を蒙つ

前日蔣介石に宛て 北支緊急に乗じ平津にある 終領連が叛反的運動を起さ 人ごする形跡のり、これを 未然に防ぐため政府より急 馬を請ふべく手配のり度し 馬を請ふべく手配のり度し

6今朝迄に通過せるは二箇到の移動は稍困離さなり昨夜か

大連方面へ米網変粉で出版した優格を見せを加入した優ができるに、 一点に各印共大袋に對し均しく な最高品たる英國粉に比較し をで見せた此の騰貴した優格 をで見せた此の騰貴した優格 をで見せた此の騰貴した優格 をで見せた此の騰貴した優格 をで見せた此の騰貴した優格 をでした。 がの成立せるもの十餘仲との の北崎の変粉業は米國粉らの現 をでした。 をでした。

朝鮮人農務裡

統一計畫進む

軍隊減少

車に過ぎず

「南京十四日發國油」即良は

商軍移動困難で

通電は出

原因に穀物收獲別に併職樂いるなな收穫が出來なかつたためない。 「思はる、十月以降の累計は五七三五二、三車で前年同明 に比し四〇〇二一、一車の減

對策協議

天津通過の

少であつた

を拒絕

蔣、學良の提議

で損害を蒙つた者への救擠 ・ 尼港事變きオコフク事變 定の分さ提案録をの分さを決定の分さ提案を開し各閣僚より提案決定の分さ提案録をの分さを決 内務省 7.7 た者へ救恤広 爲特管理法案 選舉法中改正法律

熱河省は

満洲國の

一部

方針につき陸相語る

在つた周作霖旅々移し克山には前河にあつた賈金郎を入れ換るべく目下各移動中であるから本月中旬辺には完了の豫定である。斯て極北の警備は完全を明せられるここになった

特產物

比し半減の狀態を示し、其のに取扱ひいる特産物は飼年にに取扱ひいる特産物は飼年に

徴收すっ

開魯の反滿分子

秘密會議

建築助成會

解氷を待つて活動

未曾有の住宅難を救ふ

爲損害を受けた者に對する一、支那に於ける動衆騒擾の 農林省 米穀統制に関する法

政府に進言する事になった

政府に進言する事になった

政府に進言する事になった

政府に進言する事になった

蔣が學良 積極的激勵電を發す 中央から八箇師を北上

國民同盟の

(天津十四日韓國曲) 関内の 形勢は其後異常なく九門口に あつた支那軍は石町 案に退却 をしてゐた偽身軍は糧食、弾 來してゐた偽身軍は糧食、弾 後學艮に左の如き激闘を 山田関九門ロ一帯の失陥は遺宛でも來た 事會議

「東京十四日發國通」荒木陸 村は昨十三日左の通り語った 一所日前から某々師聖の演洲 に於る兵備充實し增兵は無出 だ熟河問題も橫洲國一部さし で大針以して居り在滿具で治 安は維持し得る。張學良か平 なが中央政府の强要によるも ので興良自身は躊躇。 てゐる が同方面は支那側が挑戦せね

林及其の部下も

日本と協調に

多田少將東上

大の影響を及ほすべくより見て必ずや北寺班

延りてと

を及ばすべく延い

の途にある、黒河には克山に一世しめるこさもなり主力はサゼしめるこさもなり主力はサビスの主力はサビスの金の金の金のであり、 完壁を期す はれる

「 遼十三日 養城領) 在 時間 で詳細・明なるも食糧回顧及 で詳細・明なるも食糧回顧及 で詳細・明なるも食糧回顧及 で詳細・明なるも食糧回顧及 で詳細・明なるも食糧回顧及 で詳細・明なるも食糧回顧及 で詳細・明なるも食糧回顧及 で詳細・明なるも食糧回顧及

新京未會月の住宅離や数四す ち四千風を依頼者は會に支拂路 新京未會月の住宅離や数四す ち四千風を依頼者は曾に支拂路 以により株式組織の新京建寺 その残額大割を東拓を代理人 でや全く続ての計費を整備し 居るから、十年賦償恵ごすれ及 只解氷を待つて何時でも申込 は佐額者は 大千圓を年 みに感じ収かる許りしなつて との残額大割を東拓を代理人 なに感じ収かる許りしなって との残額大割を東拓を代理人 なに感じ収かる許りしなって とり

のす公共建築をも引受いると 関係該助成金は住宅のみに限

沿線の特産物 場各鐵道治線に於ける特産物 の在貨屯數は左の如き數字を ぶして居るか、その後積山し 及び特込による若干の變動は あるこしても現在に於ける特産物 のを当地域路之ご同數量ごは做 されてある

大連錢鈔 (古田前場)

况(十川田)

中野 就 と 謝 外 交 総 長

分童が京よりハルピンへ零時五十分章

北滿各鐵道

編州より零時十九分新京著 錦州より零時十九分新京著 錦川より零時十九分新京著 第四大佐 寺倉中佐 寺倉中佐

一計二、八九六

總 吉 合合其木雜大是合其豆大東合其豆木雜大 計 計他材製豆絲計他粕豆絲計他粕材製豆

最は昨夜上京直ちに私宅に長 をまで書時の情况を報告今後 の整備對策に就き重要協議を を りた 十一月七豆 六大〇屬聚五十一月七豆 六大〇屬聚五十一月七豆 六大〇屬聚五十二月七豆八五 一芝城三〇一大城千七个麻子七六大麥一豆粕一瓜子一六計六三八五 十二月大豆七,大一三高聚五九七小城子一一六蘇子五二一四七小城子一一六蘇子五二一一八包米三年裔麥四大一一六蘇子五二一一八包米

※六豆粕一大米一計

月廿八

日を

上海記念日に

海軍で展覽會も開く

まに決した。 黄光前条使、村 神前上海總領事。 野村第三艦 隊司令官等起つて追想鋏をな す筈であるその他の軍では之

では花に、生芽は大木にさ地上の萬物は愛く此の思恵に浴 してるるのである 科學は眞理への探求であるさ しても此の進步被達が如何に 人生を豊富ならしめ、女化培 進上に多大の貢献をなしたか

れは除りにも冷淡すぎるであ

輝く光明を慕ひて身を殺す蟲は眼中に無かつた闇黒の中に

之を奪重しなかつたならば e よつてその思恵に浴しながら

時せんごするのは大なる誤り る。然し之を實用第一の上か る。然のとを實用第一の上か

も悔ひるこさは無かつた 精神に機てを犠牲にして少し

こして 人間生活を根抵から動戯れに類する事物の研究か時

忘

呈カレ

である言云はねばなられ

(E)

^

新京清佐

石炭の斤量検査 電して入り夾んで来たインチ 特別等が市中到る處にばつ こしつにあるので、新京署保 安峰では間斷なく取締を嚴に してゐるが時節柄十三日は石 反痛の斤敷調べを行った、先 の高十町、大和班、東二條通 一各派用所前へ午後一時から

地理學的概念養成に努めよ

を同じく緑返しては居んが、海に沈み獣々の中にも其行程

る否知らっさしないのである面にかける彼の苦心を後の人

番々はその自己の研究の音に 否知識懲い為に"或は党及の中に或は失明の中に或は飲化線 上の極地に一命を物さもせず 上の極地に一命を物さもせず

は本○○のターさんが……チャームニコッの淳子の彼氏ではた。 大慶大人になりました。その大慶大人になりました。その

やい」……とよ、似のいます

于

島田で「からいらつし

(變り行く新

の姿に對して)

のである

3

され、人類の機さなつてであるれ、人類の機さなの侵秀さは生産

も川の酸リカ全世界の人をごれだけ救つたか。 カル英大なる努力を排つて之ない英大なる努力を排つて之

事は多々のるのである。

十九日 常都子より大虎山 二十日 奉天へ 一二十日 奉天へ 一二十日 奉天、り禮嶺、四 本街、洮南 へ 世二日 龍口より中東、チ チハルビン潜在 ハルビン潜在

京署で

九十一名で、昭和三年二百九 原芥箱等不潔物の整理を嚴格 に行び市民に衛生思想を譬み するご共に傳染病防止を大々 的に行ふこさくなった昭和三 年から七年迄の最近五ケヰ間 の統計を示せば總數一千七百

用集り執政海濱氏を會長に仰 普及さす賃在足の劍道有段者 の論膜へ満洲一郡 - の

お武道曹を組織するこの意見 親陸曾々問き具体的立案をな 対応

0

百連座

で大人満員の名は、大連中央館、古

名書天

一來る安座

十九日 山 奉奉 7

除く六三五五〇六年前郵便配達(年賀郵便を

衛生係活

動

執政を會長に

武道曾設立を計畫

染病撲滅に

十十十十十八七六五四日日日日日日

山海鰯より潜器子の線緊より出海鰯へ自動車往復

除く一四八四八六四十十二八八二)

(十四十二二)

【母京十三日酸國通】片間弓八氏のナヒモフ號小泉又次郎氏のリューリック號引上けは共に資金募集を終り愈々今春から夏にかけて作業に着手するが、あわよくば一口十圓が歌十倍から百倍さなつて返って來るので引上け作業は黄金

上け作業を開始する筈で現場に行き詳細調査し、確で現場に行き詳細調査し、確

行の行程をの通りである

小包引受 三二〇四

軍勝士の勞苦をねぎ、ひ聊士 東京を出發したが今十四日朝 東京を出發したが今十四日朝 東京を出發したが今十四日朝

他数種の映畵を携へ親しく皇

中に慰問、國民感謝の意を排 情感問頭名派遣東出身地の青 作代表二十名、新聞社側より 年代表二十名、新聞社側より 年代表二十名、新聞社側より 一面郎氏を加へて二十六名の一

便配達約六十八萬引受約四十十三日出來上つたが。 年賀郵

始つて以来の莫大な數字を示八萬を除くも尚左の如き新京

してゐる〇四數字は

引受書留

二八〇六

黄金狂時代

3

て黄金の夢は實現?

配達書留

(元の四)

犬を執る皇軍將士を親しく陣酷米の禰洲に日夜毘徒掃討の

新京郵便局

取扱郵便物激增

新京着は二十五日

靑

年團

日

を目指

可成りつたこ

廿二日正午千鳥で

年末より年始にかけて天然痘が流行してゐるが、この天然症は幼兒のみでなく、大人が相常罹つて居る、現在満縄病院に入院せるもののみにて十一名の多数に上つてゐるが、この天然時長塚本博士は語る日本内地で種痘して渡崎したから此處でやる必要はあるまいこ放置して罹った新は内地ご協洲の細菌に差頭は内地に強い、これ

の不完全により漏れ落らたの を制電の斤小足を發見した がけて斤数の検査をなしたが はる制電の斤小足を發見した がは、大だ・唯實に判明せ の不完全により漏れ落らたの 日本での 効果な 種痘

頭彩以下 代賣店判明

戦職者を関した代賣店が判明した が、頭彩、二彩、三彩の幸運 が、頭彩、二彩、三彩の幸運 が、頭彩、二彩、三彩の幸運 が、頭彩、二彩、三彩の幸運 が、頭彩、二彩は四平街の高文 即奉天の買奇項。 答口の王季 事新京のの保貴がが二つで ある か一番多く線計七白七十二名。同九年に古八十五名、同七年五百八十六名で、同時の年でも派剤十六名で、同六年

入學申込みは早く

幼稚園小學校

新北幼稚園小學校入學見重の申込は目下新京地カ事務所会 曹保で受付てるるが十三日現 在の申込幼稚園八十七名舊男 四十三名、女四十四名、西殿 四十三名、女四十四名、西殿 西中込は目下新京地カ事務所会 で見られてゐるが、入期者 の申込の方々は至急地方事務 所入費保に申込れたいこ、な に見られてゐるが、入期者 が、入りの中込れたいこ、な に見られてゐるが、入期者 が、入りの中込れたいこ、な に見られてゐるが、入期者 を食は突如逃走せんご事上より飛び峰り一名は櫟外一名は 重傷を負ひ他の二名は逃走し たが退闘時の事ごて大混雜を

館警察者へ大經路串三市場二十四日午後三時頃転京總領事

心臓痲痺

痘流行に注意

があるためで斯る新渡 …者 は是非常地で種痘を受ける 必要がある では左の日程により無料に て一般の種痘を行ふ事になっ た ・ 十六日 本子堂 十六日 室町小嶼校 十八日 西廣場小學校 中八日 西廣場小學校 和會が

満州 は に 辨事 處 満 化 に 辨事 處 満 か 面 に 動し 積 極 的 に 各 地 に 日 瀬 陽 保 建 記 精 神 小 普 及 に 日 瀬 陽 保 建 記 精 神 小 普 及 に 日 瀬 陽 保 建 記 精 神 小 普 及 に と 瀬 事 慮 を 設 が 、 今 回 元 遼 率 氏 常 自 術 軍 の 本 據 で あ つ た 通 化 に 辨事 慮 を や し た 。 日 素 満 系 各 上 任 し た 。 同 地 を 中 心 に 客べ妙な死に方をしたさ市中に噂が擴まつたが去年の大晦日に同班に登樓遊興の上就寢中の急死したのを其筋に無屆中の急死したこさが發覺し、商員あり半分は種々の事業に投資し尚現金一萬圓余ある筈で或は殺されたのではないから成は殺されたのではないから

四平街の

開業

*

に奔走すず署である他も巡回し協和曾の使命達成他も巡回し協和曾の使命達成

死降りて き云ふのが眞相らしい

附近にさしかもるや内叫名の食を満洲畝側に引渡す為トラウルは最終り集められた乞食を満洲畝側に引渡す為トラックに横載日本橋通り南廣場

らなし 感冒患者一人

戸外デー以来一日の欠もなく 一の二十二日は日捷の間に迫って来たが地方事務所では所 員一齊に之れを剛行するの外 では所 では所 し、同機械を當地に於て五十 着々實行して來たが更に這回 着々實行して來たが更に這回 一台購入

台製作し之を遊離氏に貸 興積 を のに 数 でせんこする計画で 以 深 冒務の 逐行 刷新 三内外の 以 深 冒務の 逐行 刷新 三内外の 以 が は 現 幹 部 就 任 四平街 の火事

「四平街支局母」七年度に於ける常市の出火件数は十五回にして此に依つて島有に歸した財貨は實に一一、七二〇頃に上り前年の被害に此すれば出火件数は五回の増加損害は一一の場がで示して出火件数がある場がで示して 延びびく新京に最もふさはしいホテルが出現した、新京中央第三十五番地特産商千銭修一氏は昨年五月から同番地に十萬圓余の工費を投じ國都本テルを新築工事中のごころこの理竣成。窓々十五日から同業す。ここになつた、室内の機能は至れり鑑せりで、洋室七字。日本第二十四 、内八疊、四疊半を台した等四、八疊 でグリルの監督は落合幸之介 にあてたこさになつた。同本 にあてたこさになつた。同本 にあてたこさになつた。同本

康の花を映かせて居る でねご云ふ好成績を如實に健 をねご云ふ好成績を如實に健 かに立 々本格的の寒ささなった

蓮香班客の

妙な噂

偉容を 誇る 國都 ホテル

御 電話行り四六番 吉春長

十三號布で師崎口善作(四五)か殺害されてゐるさの既話に接した同署では時ならぬ緊張を示し直に署員が現場に急行後就をいつた處。ロ中より組をはきれ亡してゐるが外傷な 臓漏痺を起したこさが判明し 三日夜支那酒を多量にのみい 宮師の診断をなした結果同人 いたが十 消防除努力の現れである。 四平街小學校

次、猩紅熱の二白九十九~、 場チブスの三百八十二名。 が ラチブスの百二十二名で、痘 瘡、ジフテリヤ等が順次これ

内地の計実 「東京十三日ぞから急に温度 が降り十三日ぞから急に温度 が降り十三日ぞから急に温度

(四)半街支局等) 四平街小學 して來る二十日兒童の研究整 表會を開き尚夜間は教育映畵 空に於て査夜二回音樂育を開

114 24 キタテ貝一五 * 4 9 4.5 ボ N. P. E DE O TE O O EAR HE EO

各
種
期

8

本小楼のレイ子の彼氏?は○ ○銀いの○さんで二人の仲はいたつて○くおさまつてゐるいたつて○くおさまつてゐるいたのず、他の人のアノ人ごラョ 鮮魚小賣相場 完全燃烧無煙 村上式 南 ストーブ 東部間のストーブ 東部間のストーブ 東部間のストーブ 東部間のストーブ 東部間のストーブ 東部間のストーブ 東部間のストーブ 東部間が理解 第一位に比類な 東部間が理解 第一位に比類な 第一位に比類な 脇洋行

食道鄉 0 44

限日兩(夜畫)五十°四十 各大 《智監 田 義 池 匠名 盡映作特超田蒲▼衤◆竹忪 連朝

げかかに上の性吶女男るき生に代時初

? ぞ何てし果まざ利 演主子 夫秀野藤。二讓岡。雄達藤齋。光內山 子照水若。子澄保久水。子雪波筑 子信葉若

演出回一第。也骖本野。修吉住 社入新 督監稔塚犬作原寬澤母子載連グンキ

郞 五 漬の漫自

器定會饰

連大店本

即四等田安取頭

隆

IF

鼅

11111111 ワ茄粕皮べ紅白福良奈味 付 及 菜神京良 ピ子大大ラ 漬漬根根漬梅漬漬漬產

> 籫 漬

長ズ皮

同同毛子种婦

供士人

用用用

是非共御立寄の上 以上當商會の 作製品揃ひ

又 I 513 口 フ 商會

り少なになりましたに依つて 哈爾賓キタイスカヤ街七三 上海アペエユウジョフル七五 七五八

毛皮製品に對し二割引斷行 御一覽下さいませ 三二五五日 各庙 カワ ウ 掛 卷

開公週次

封 Ξ B

大防朝日新聞連載 雲元 史

營共竹松 座春長

演主榮久上井。子敏塚飯。郎二長林





清保酒の健



宴・千代田の



